

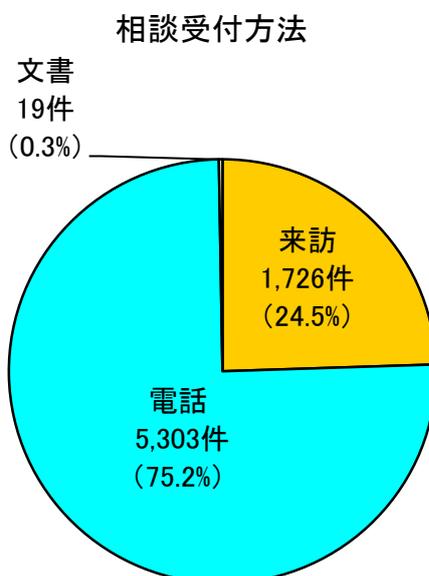
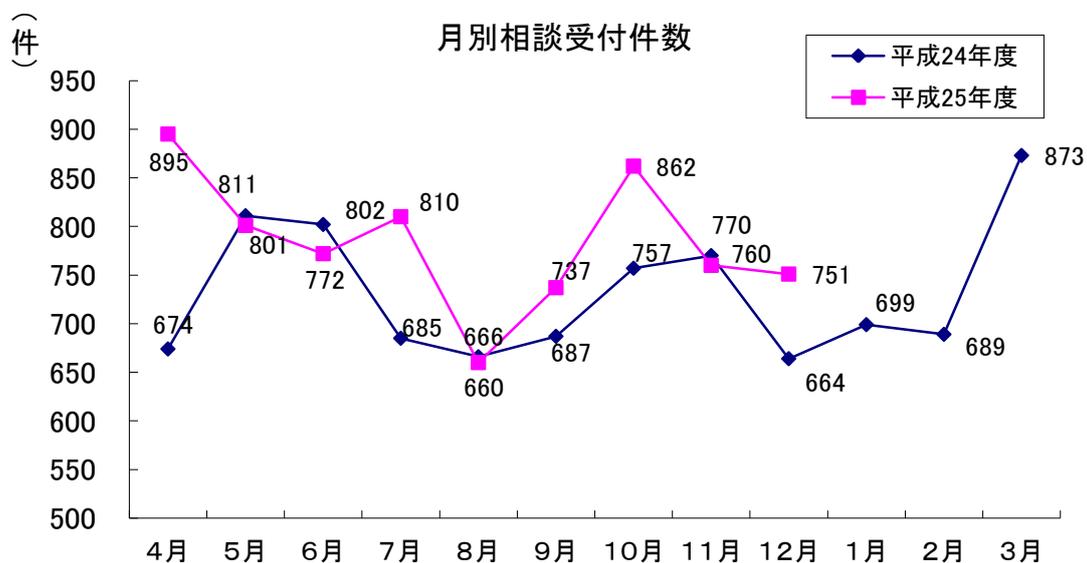
平成 25 年度青森県内の消費生活相談状況（4～12 月）

1. 平成 25 年度の状況（4～12 月）

（1）相談受付状況

県内の消費生活相談窓口で受付した件数は、苦情相談 5,794 件、問合わせ 1,254 件、合計 7,048 件であり、前年同期に比べ 532 件（8.2%）増加しました。（単位：件）

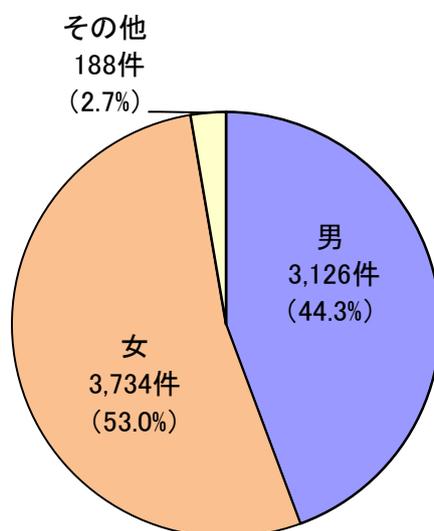
相談種別	年度 平成 25 年度 4～12 月	平成 24 年度 4～12 月	増 減	(参 考) 平成 24 年度
苦 情 相 談	5,794	5,366	428 (8.0%)	7,253
問 合 せ	1,254	1,150	104 (9.0%)	1,524
計	7,048	6,516	532 (8.2%)	8,777



(2) 契約当事者の状況

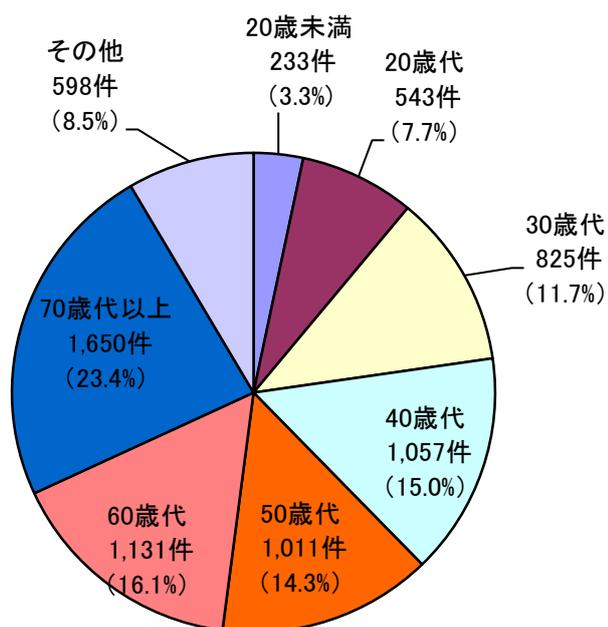
契約当事者の性別では、男性が3,126件、女性が3,734件となっています。

契約当事者の性別

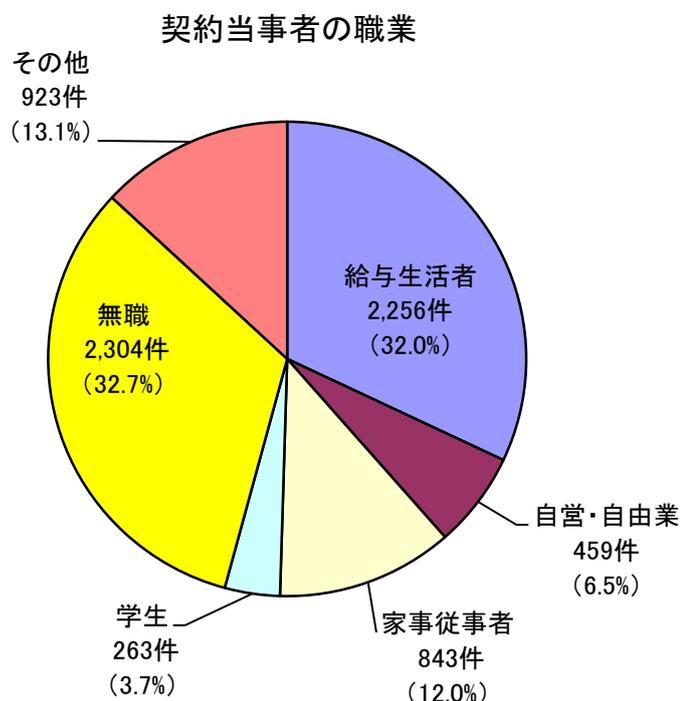


契約当事者の年代別では、70歳代以上が1,650件と最も多く、次いで60歳代1,131件、40歳代1,057件となっています。

契約当事者の年代



契約当事者の職業別では、無職が2,304件で最も多く全体の32.7%を占めています。次いで給与生活者が2,256件(32.0%)となっています。



(3) 商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

年度		平成 25 年度	平成 24 年度	増 減	(参 考)
商品・役務名		4～12 月	4～12 月		平成 24 年度
1	運輸・通信サービス	1,420	1,504	▲84 (▲5.6%)	2,014
2	金融・保険サービス	1,047	1,215	▲168 (▲13.8%)	1,603
3	食 料 品	704	381	323 (84.8%)	649
4	商 品 一 般	413	286	127 (44.4%)	492
5	教 養 娯 楽 品	407	380	27 (7.1%)	402
そ の 他		3,057	2,750	307 (11.2%)	3,617
計		7,048	6,516	532 (8.2%)	8,777

「運輸・通信サービス」1,420件は、前年同期1,504件と比較すると84件(▲5.6%)の減少となりました。最も多かった相談は、アダルト情報サイトや出会い系サイトなどの放送・コンテンツ等に関する相談1,037件で前年同期1,147件と比較すると110件(▲9.6%)の減少となっています。

「金融・保険サービス」1,047件は、前年同期1,215件と比較すると168件(▲13.8%)の減少となりました。最も多かった相談は、融資サービスの相談692件で前年同期803件と比較すると111件(▲13.8%)の減少となっています。

「食料品」704件は、前年同期381件と比較すると323件(84.8%)の増加となりました。最も多かった相談は、健康食品に関する相談478件で前年同期161件と比較すると317件(196.9%)の増加となっています。

「商品一般」は413件で、前年同期286件と比較すると127件(44.4%)の増加となりました。商品を特定できない相談が「商品一般」に分類されますが、代表的な相談として架空請求が93件、劇場型のもうけ話詐欺が45件となっています。

「教養娯楽品」407件は、前年同期380件と比較すると27件(7.1%)の増加となりました。最も多かった相談は、新聞や単行本などの書籍・印刷物に関する相談90件(22.1%)となっています。

2. 平成25年度の特徴(4~12月)

(1) 65歳以上の相談が増加

①相談受付件数

契約当事者が65歳以上の相談は、苦情相談1,760件、問合せ348件、合計2,108件であり、前年同期に比べ592件(39.1%)増加しました。(単位:件)

	平成25年度 4~12月	平成24年度 4~12月	増減
苦情相談	1,760	1,241	519 (41.8%)
問合せ	348	275	73 (26.5%)
計	2,108	1,516	592 (39.1%)

②商品・役務別の相談受付状況

65歳以上の相談で最も多いのは、食料品に関する相談487件で、前年同期187件と比較すると300件(160.4%)の増加となりました。(単位:件)

商品・役務名	年度	平成25年度 4~12月	平成24年度 4~12月	増減
1	食料品	487	187	300 (160.4%)
2	金融・保険サービス	320	316	4 (1.3%)
3	商品一般	198	117	81 (69.2%)
4	教養娯楽品	118	115	3 (2.6%)
5	運輸・通信サービス	115	105	10 (9.5%)
	その他	870	676	194 (28.7%)
	計	2,108	1,516	592 (39.1%)

食料品:健康食品、魚介類、飲料など

金融・保険サービス:フリーローン・サラ金、ファンド型投資商品、公社債など

商品一般:架空請求、商品が多岐にわたるもの、特定できないもの

教養娯楽品:単行本、新聞、室内装飾品、仏具・神具など

運輸:通信サービス:デジタルコンテンツ、インターネット接続回線など

③65歳以上の既払金額

65歳以上の相談で、お金を支払ってしまった人の数は、362人で前年同期264人と比較すると98人(37.1%)の増加となりました。既払金額の合計は622,662千円で、前年同期445,831千円と比較すると176,831千円(39.7%)の増加となりました。65歳以上の既払金額が全体に占める割合は51.0%を占め、被害の深刻さが浮き彫りになっています。

(単位：千円)

◆65歳以上	平成25年度 4～12月	平成24年度 4～12月	増減
お金を支払った人の数	362人	264人	98人(37.1%)
既払金額合計	622,662	445,831	176,831(39.7%)
平均既払金額	1,720	1,689	31(1.8%)
最大額	113,000	41,400	—
◆全相談	平成25年度 4～12月	平成24年度 4～12月	増減
お金を支払った人の数	1,218人	1,142人	76人(6.7%)
既払金額合計	1,221,449	1,092,769	128,680(11.8%)
平均既払金額	1,003	957	46(4.8%)
最大額	113,000	41,400	—

(2)「もうけ話詐欺」に関する相談が増加

①相談受付件数

もうけ話詐欺に関する相談は257件で、前年同期235件に比較すると22件の増加となりました。そのうち契約当事者が65歳以上の相談は200件で全体の77.8%を占めています。

(単位：件)

受付年月	平成25年度 4～12月	平成24年度 4～12月	増減
相談受付件数	257	235	22(9.4%)
うち65歳以上	200	130	70(53.8%)

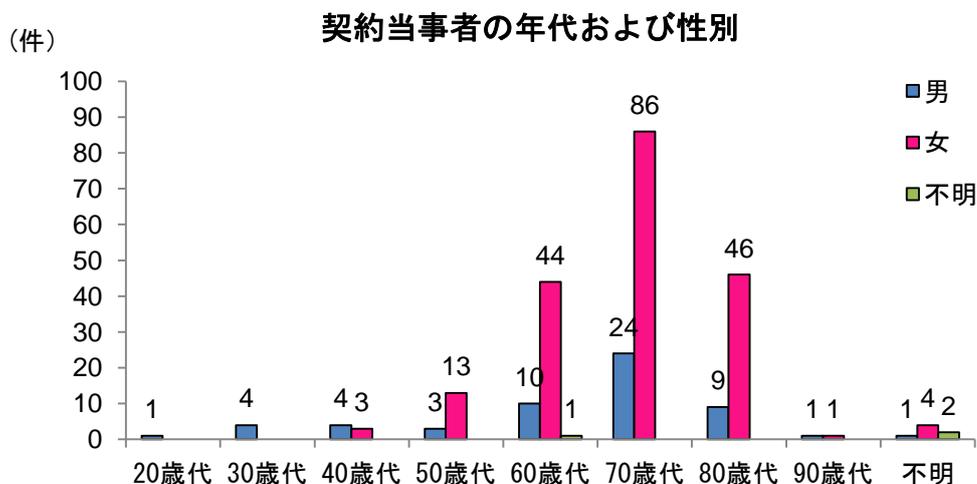
②商品別件数

(単位：件)

	商品名	件数
1	ファンド型投資商品(商品ファンド、株や社債という形ではない事業への出資など)	73
2	商品一般(商品が不明なもの、他品目にわたる場合)	45
3	預貯金・証券等(未公開株、社債等)	32
4	アクセサリ	29
5	他の商品(ダイヤモンドなどアクセサリに加工前の原石、)	18
	その他(他の教養娯楽品、役務その他など)	60
	合計	257

③契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代・性別でみると、70歳代の女性の相談が86件と最も多く、次いで80歳代の女性の46件となっています。



④既払金額が減少

既払金額の合計は115,885千円で、前年同期172,665千円と比較すると56,780千円(▲32.9%)の減少となっています。お金を支払ってしまった人の数は前年同期より4人多い40人ですが、一人あたりの平均既払金額は2,897千円で前年同期4,796千円と比較すると1,899千円(▲39.3%)の減少となりました。

(単位:千円)

区 分	年 度	平成 25 年度 4～12 月	平成 24 年度 4～12 月	増 減
お金を支払った人の数		40 人	36 人	4 (11.1%)
既払金額合計		115,885	172,665	▲56,780 (▲32.9%)
平均既払金額		2,897	4,796	▲1,899 (▲39.6%)
最大額		13,700	41,400	—

(3) 健康食品の送りつけに関する相談が増加

①相談受付件数

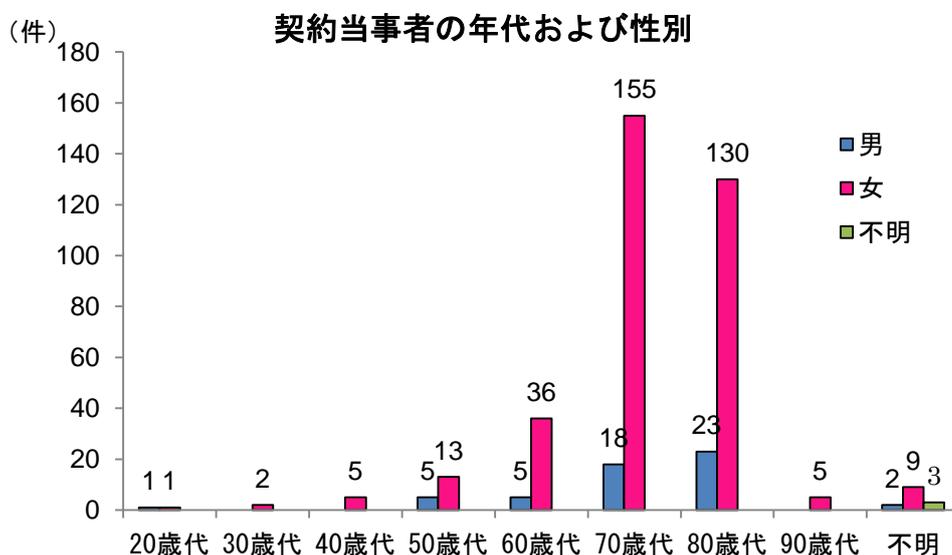
頼んでもいない健康食品を送るという強引な勧誘電話に関する相談413件は、前年同期116件と比較すると297件(256.0%)の増加になりました。このうち、契約当事者が65歳以上の相談は347件で全体の84.0%を占めており、明らかに高齢者を狙っていることがうかがわれます。

(単位:件)

年月	平成 25 年度 4～12 月	平成 24 年度 4～12 月	増 減
相談受付件数	413	116	297 (256.0%)
うち 65 歳以上 (全体に占める割合)	347 (84.0%)	87 (75.0%)	260 (298.9%)

②契約当事者の年代および性別

契約当事者の年代および性別で見ると、70歳代の女性が最も多く155件、次いで80歳代の女性130件となっています。男女別では、男性54件に対し、女性356件と圧倒的に女性の相談が多いことがわかります。



(4) インターネット通販の相談が増加

通信販売のうち、インターネット通販に関する相談が増加しています。注文した商品が届かない、ブランド品を注文したがニセモノが届いた、ショップと連絡が取れなくなったなどの相談が目立っています。 (単位: 件)

	平成 25 年度 4～12 月	平成 24 年度 4～12 月	増 減
通 信 販 売	1,709	1,714	▲5 (▲0.3%)
インターネット通販(※)	276	151	125 (82.8%)
商 品 未 着	83	33	50 (151.5%)
ニ セ モ ノ	14	10	4 (40.0%)
連 絡 不 能	103	45	58 (128.9%)

(※) インターネット通販のうち、デジタルコンテンツを除く、商品購入の件数

(5) 振り込み詐欺に関する相談が減少

架空請求 299 件は、前年同期に比較すると 9 件 (▲2.9%) の減少となりました。請求の手口として、携帯やパソコンのメールによるものが 199 件、ハガキ等によるものが 100 件となっています。 (単位: 件)

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合 計
平成 25 年度 (4～12 月)	0	299	3	10	312
平成 24 年度 (4～12 月)	0	308	4	11	323
増 減	—	▲9 (▲2.9%)	▲1 (▲25.0%)	▲1 (▲9.1%)	▲11 (▲3.4%)

(6) 多重債務に関する相談が減少

多重債務に関する相談 310 件は、前年同期 340 件に比較すると 30 件 (▲8.8%) の減少になりました。一方、ヤミ金に関する相談 62 件は、前年同期 52 件に比較すると 10 件 (19.2%)、ショッピング枠現金化の相談 5 件は、前年同期 2 件に比較すると 3 件 (150.0%) とそれぞれ増加しました。(単位：件)

年度	平成 25 年度 4～12 月	平成 24 年度 4～12 月	増 減	(参 考) 平成 2 4 年度
多 重 債 務	310	340	▲30 (▲8.8%)	461
融資保証金詐欺	3	4	▲1 (▲25.0%)	6
借 金 整 理 屋	3	3	—	5
ヤ ミ 金	62	52	10 (19.2%)	69
ショッピング枠 現金化	5	2	3 (150.0%)	3

多重債務相談310件の借金のきっかけ

